

2019年6月17日

株式会社 富士経済
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
1番5号 PMO 日本橋江戸通
TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165
<https://www.fuji-keizai.co.jp/>

広報課 TEL.03-3664-5697
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>

2018年後半から需要が落ち込むも、2019年後半以降は再び堅調な伸びが期待される 中国の産業用ロボット市場を調査

2025年市場予測（2018年比）

中国の産業用ロボット市場 9,838億円（2.7倍）

～スカラロボットや小型垂直多関節ロボットなど組立・搬送系の大幅な伸びが市場拡大をけん引～

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済（東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811）は、グローバル市場において産業ロボットの最大の需要地となっている中国市場を調査した。

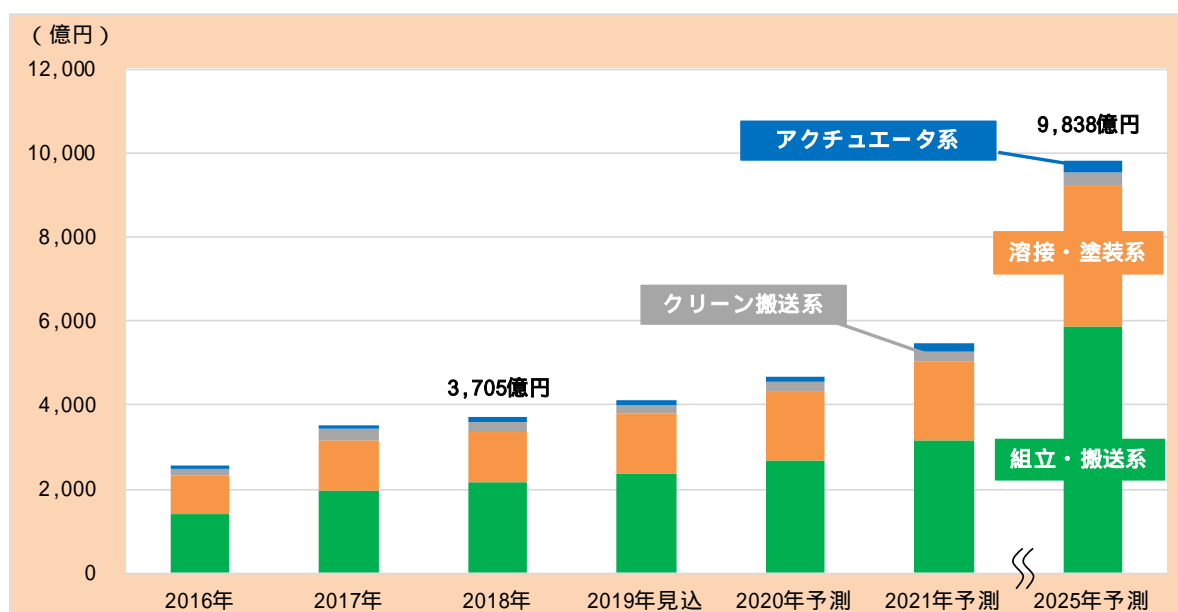
その結果を「**急成長する中国新興ロボット関連プレーヤーの最新動向調査**」にまとめた。

この調査では、中国の産業用ロボット市場（組立・搬送系、溶接・塗装系、クリーン搬送系、アクチュエータ系）の現状を分析し、将来を予測するとともに、中国ロボットメーカー19社、中国ロボット部材メーカー9社の動向について整理した。

中国の産業用ロボット市場は、人手不足や賃金上昇への対応、スマートフォンや自動車関連をはじめとした主要需要分野の好調などにより、今後も中長期的には堅調な拡大が予想される。また、国家主導による中国メーカー・部材メーカーの育成なども進んでいる。市場拡大に伴い、大手メーカーに限らず中小も含めた様々なメーカーが実績を伸ばしており、今後は新旧ロボットメーカーのシェア構造の変化が想定される。

<調査結果の概要>

中国の産業用ロボット市場



中国の産業用ロボット市場は、主に自動車の製造に使用される溶接・塗装系が市場をけん引してきたが、人手不足や人件費の高騰を背景に自動車製造以外の用途でもロボット需要が増えており、近年は組立・搬送系が伸びている。

市場全体として、2018年前半までは大幅な伸びがみられたが、2018年後半から設備投資の抑制により伸びが鈍化した。ただし、2019年後半には設備投資の回復により堅調な伸びが予想され、2025年の市場は2018年比2.7倍の9,838億円が予測される。

【組立・搬送系】

2017年はスマートフォン関連の需要増加により伸びたが、2018年はスマートフォン関連需要の減少、米中貿易摩擦による設備投資抑制などの影響で伸びは鈍化した。2018年に比較的好調だったのはスカラロボットであり、中国ロボットメーカーも実力をつけてきている。

2019年は米中貿易摩擦の影響緩和が期待され、人手不足や人件費の高騰を背景とした底堅い自動化ニーズにより今後の伸びが予想される。スカラロボットや小型垂直多関節ロボットなどの伸びが市場拡大をけん引するとみられる。

【溶接・塗装系】

主に自動車、自動車部品の製造ラインで採用されており、中国の産業ロボット市場をけん引してきた分野である。2018年は環境規制の強化や米中貿易摩擦を背景に自動車の生産が低迷したため、溶接・塗装系市場の伸びも鈍化した。しかし、2019年以降はEVなど向けの設備投資の増強を背景に堅調な需要が予想される。

【クリーン搬送系】

ガラス基板搬送ロボットとウエハー搬送ロボットを対象とした。

ガラス基板搬送ロボットは、中国FPD(フラットパネルディスプレイ)メーカーの設備投資に大きく左右される。2018年は設備投資が停滞したため市場は縮小に転じた。FPDの供給過多や、有機ELの低コスト化が進展していないことから当面は設備投資が低調なため、市場の本格的な回復は2021年以降になるとみられる。

ウエハー搬送ロボットは、2018年後半に急激に需要が落ち込んだ。2019年末頃から需要が回復すると予想される。

【アクチュエータ系】

2017年に市場は大幅に伸びたものの、2018年後半はスマートフォン関連の設備投資の縮小や、米中貿易摩擦の影響により需要が急激に落ち込んだ。しかし、2019年以降はスマートフォン関連の潜在案件に加え、米中貿易摩擦の影響緩和が期待され、堅調な伸びが予想される。

<調査対象>

中国ロボット市場	・組立・搬送系	・溶接・塗装系	・クリーン搬送系	・アクチュエータ系
中国ロボットメーカー事例	19社			
中国ロボット部材メーカー事例	・減速機メーカー 5社	・サーボモーターメーカー 2社	・コントローラメーカー 2社	

<調査方法>

富士経済専門調査員による参入企業および関連企業・団体などへのヒアリングおよび関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間>

2019年1月～2月

以上

資料タイトル	： 「急成長する中国新興ロボット関連プレーヤーの最新動向調査」			
体裁	： A4判 45頁			
価格	： PDF版 300,000円+税			
発行所	： 株式会社 富士経済			
	〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号 PMO日本橋江戸通			
	TEL：03-3664-5811(代)		FAX：03-3661-0165	
	URL： https://www.fuji-keizai.co.jp/		e-mail： info@fuji-keizai.co.jp	
調査・編集	： 大阪マーケティング本部 第四部			
	TEL：06-6228-2020		FAX：06-6228-2030	
この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL： http://www.group.fuji-keizai.co.jp/				